2016.5.2 vol.44

えちぜん議会だより

あさひ保育所入所式

— いつまでも親子の深い絆を —

【主な内容】

Contents

■ 臨時会報告・定例会報告 …… 2～3
■ 当初予算質疑 …… 4～5
■ 議案賛否一覧
自治功労賞受賞 …… 6
■ 町政を問う（一般質問） …… 7～9
■ 一般質問 ～その後～ …… 10
■ 議員の議会・委員会等出席状況 … 11
■ がんばってます！ …… 12

臨時会報告

こんなことを審議しました

第1回臨時会
会期／1月29日

○専決処分の報告について
（越前町公共下水道朝日浄化センターの建設工事委託に関する協定の変更について）

「朝日浄化センター建設工事委託に関する協定」の契約金額を120万円増額したことを報告しました。

○〈補正予算〉
保育所解体事業（委託料）
489万6千円

平成28年4月のあさひ保育所開所に伴って用途廃止となる朝日中央保育所と朝日北保育所を解体するため、境界確認の測量委託と解体工事の設計を行います。

○財産の処分について

越前町朝日南部工業団地における工場立地用地の売買契約（9,540万円／面積15787.04㎡）を「株式会社東京セロレーベル（京都府京都市右京区西院安塚町、代表取締役 星野光）」と締結します。

第2回臨時会
会期／2月18日

○専決処分の承認
（平成27年度越前町一般会計補正予算（第12号））
除雪事業 1,811万円

平成28年1月19～26日の寒波到来により、除雪費用に不足が生じる恐れがあるため、除雪に係る経費を増額しました。

○公の施設の指定管理者の指定について

平成28年4月に指定管理者の更新を迎える施設の次期指定管理者を承認しました。

施設名	指定管理者
泰澄の杜	株式会社 F＆E
オタイコ・ヒルズ	
越前町織田陶房「わづみ館」	
悠久ロマンの杜	一般社団法人 入尾・笈松 活性化委員会

〈指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日〉

定例会報告

3月定例会
会期／3月4日～18日

主なものは次のとおりです。

条例

○越前町行政不服審査会条例の制定について

○越前町行政不服審査関係手数料条例の制定について

○行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

平成28年4月1日施行の行政不服審査法に基づき、第三者委員会の設置並びに手数料に関する規定を整備し、関係条例の改正のため新たに条例を制定しました。

○越前町ふるさと再生寄附条例の一部改正について

町に寄附をしていただく方に対し、寄附金の使途を選択する幅を広げて、ふるさと再生寄付金の利用の拡大を図ります。

〈参考〉ふるさと納税の件数と金額

年度	件数	金額
20	17件	1,645,000円
21	18件	1,896,420円
22	30件	2,557,000円
23	24件	2,044,000円
24	37件	1,210,500円
25	26件	1,530,500円
26	38件	2,041,500円
27	39件	3,155,500円
合計	229件	16,080,420円

改正後の寄附金の使途選択の区分

(1)快適で安全に住み続けられるまちづくりのための事業（道路、上下水道、空き家対策、公共交通、防災、防犯、交通安全に関する事業）
(2)誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくりのための事業（保健、医療、福祉、結婚、子育て、移住定住に関する事業）
(3)人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくりのための事業（地域コミュニティ、男女共同参画、学校教育、社会教育、スポーツ振興、国際交流に関する事業）
(4)人と仕事の活力みなぎるまちづくりのための事業（農林水産業、商工業、伝統産業、雇用対策に関する事業）
(5)ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくりのための事業（観光、環境保全、文化財保護に関する事業）

その他

○公の施設の指定管理者の指定について
（越前町老人福祉センター「幸若苑」及び越前町老人憩いの家「陶寿園」）

平成28年4月に指定管理者の更新を迎える施設の次期指定管理者を承認しました。

施設名	指定管理者
越前町 老人福祉センター「幸若苑」	公益社団法人 越前町 シルバー人材センター
越前町 老人憩いの家「陶寿園」	

〈指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日〉

○町道路線の認定について・町道路線の変更について

〈認定〉新庄4・5・6・7号線（4路線）／市・乙坂線／陶芸村3号支線
〈変更〉新庄東中学校線／新庄気比庄線／堂山下野線

補正予算

社会資本整備総合交付金事業
4,550万円

国の社会資本整備総合交付金を受けて、町道血ヶ平・梨子ヶ平線の法面補修工事を行います。

当初予算

地域公共交通活性化事業
（通学支援補助金）
1,900万円

公共交通機関で通学する高校生の通学定期支援制度を拡充して、保護者の経済的負担を軽減することにより、子育て支援の充実および定住の促進を図ります。（本制度の利用により通学定期券購入時の個人負担額が月額5千円となります。）

宮崎ディサービスセンター改修事業
3,779万6千円

施設の南側を増築し一般浴槽を新設します。

また、空調設備を更新するとともに椅子式入浴装置と昇降式介護浴槽を新たに設置します。

漁業の担い手育成推進事業
2億1,532万4千円

漁業への関心と理解を深める機会を設けて、漁業の後継者育成を推進するため、越前がにミュージアムを人材育成と調査研究の拠点施設として、平成27年度からの継続事業で再整備します。

水産環境整備事業
5,521万9千円

漁場の海底耕耘を実施し、本町の沿岸海域における生態系全体を維持・回復させて水産資源の増加を図ります。

観光戦略事業（ふるさと割クーポン券事業）
1,000万円

宿泊予約サイトのサービスを活用してクーポン券を発行し、お得感を演出することで利用客の増加を図ります。また、予約サイト上で「越前町特集ページ」を作成して、越前町の認知度向上を図ります。

越前水仙を活かしたまちづくり事業
1億3,271万円

「上岬地区を良くする会」と連携し、「ビューティフル3セット（越前水仙・絶景・夕日）」を観光資源とした通年型観光地への取り組みを実施します。

社会資本整備総合交付金事業
1億4,540万円

道路網の構築や冬期間の交通の確保、道路構造物の長寿命化を図るため、国の交付金を受けて町道の整備を図ります。

〈路線〉
町道福井線／町道宝泉寺グラウンド線・国体線／町道栃川線／町道光が丘大城野線（光ヶ丘大橋）／町道窯業試験場線／町道辻上野2号線橋の点検　91橋
〈道路構造物定期点検〉

小規模小学校連携事業
180万円

糸生小学校、常磐小学校、萩野小学校の3校が連携し、「あつまる授業（合同授業）」と「つながる授業（ICTを活用した遠隔地授業）」を実施します。

文化歴史館事業（展示室改修）
462万4千円

充実した常設展や企画展覧会を開催できるよう展示室のレイアウトを変更します。

ホッケー場改修工事
1億7,000万円

〔平成28年度：2,910万円〕
〔平成29年度：1億4,090万円〕

平成30年度に開催される「福井しあわせ元気国体」のホッケー競技開催に向け、町立人工芝ホッケー場の人工芝の張替工事を行います。

統合学校給食センター建設事業
8,055万2千円

老朽化した4地区の給食センターを統合し、新たに統合学校給食センターを建設するため、測量設計及び地質調査並びに施設の解体工事を行います。

統合学校給食センター建設予定地となる旧宮崎生涯学習センター

人事

次の方々の選任について、全会一致で同意しました。

【教育委員会委員】
春木　誠一氏（再任）

【政治倫理審査会委員】
藤井　賢一氏（再任）
河井　文夫氏（再任）
馬谷　友江氏（再任）
田中　善隆氏（再任）
岡田　健彦氏（再任）
石田征一郎氏（再任）

議員発議

○越前町兼業禁止及び政治倫理条例の一部改正について

「倫理基準」「町民の責務」「町民の調査請求権」の3条文を改正します。

●町職員の採用等に関して、議員は「推薦や紹介をしてならない」、町民は「推薦や紹介の依頼をしてはならない」となっていますが、これに「人事異動や昇格に関すること」を追加しました。

●町民の調査請求権は、「有権者の50分の1以上」の連署で審査会に調査を請求できることとなっていましたが、これを「有権者の50人以上」の連署で調査請求できることにしました。

平成28年度 当初予算が決まりました

一般会計 125億8,000万円 ＋ 特別会計 66億1,376万8千円 ＋ 事業会計 8億7,832万6千円 ＝

予算総額 200億7,209万4千円

当初予算質疑

総務部門

集会施設改修工事（白浜区・米ノ区）について

白浜地区と米ノ地区の集会施設の壁や階段に腐食や亀裂がみられ危険なため、改修します。

問 改修後はどうするつもりか。

答 越前地区の町所有の集会施設は、大規模改修をして譲渡する流れで進めてきている。今回は協議を進めたが譲渡するまでに至らなかった。

問 他の地区の集会施設との公平性を考慮して適切な対応をお願いしたい。

問 合併時に旧越前町から持ち込んだ地域活性化基金を取り崩して、越前地区の集会施設の大規模改修等に充当してはどうか。

現場踏査の様子
（米ノ地区集会施設）

答 現在、地域活性化基金は越前地区のイベント等に活用している。今後は集会施設の大規模改修等への利用についても検討していきたい。

町有施設解体工事（小樟）について

小樟地区にある町所有の家屋（木造2階建家屋）の居住者が転居したため取り壊します。

問 この解体工事は、空き家対策の新制度に則した取り壊しなのか。

答 土地建物は合併前から町所有のものなので、新しい空き家対策制度の対象事業ではない。これまでは城ヶ谷の大火で被災した方に無償で貸していた。今回居住者が転居したため取り壊すこととなった。今後の土地活用については、地元の区と協議していく。

問 隣家の外壁を修繕するとのことであるが、越前地区には隣家と密接した物件が多くある。これからも同じような対応をするのか。

答 今回の件は壁を共有していたため修繕を必要としたが、物件にもよるが、状況に応じて対応していきたい。

民生部門

保育事業について

問 城崎南保育所は今年度から休所中であるが、将来はどうなるのか。

答 今年度は7人の対象児童がいたが、保護者・地元区と相談し休所することにした。今後とも学童保育の場所として利用する。

問 待機児童はいるのか。年々保育所の指定管理者制度の導入が増えているが、現場の状況を確認し、意思の疎通を図ってほしい。

答 現在、待機児童はいない。指定管理者への運営状況の確認や保護者の意見の聴取を進めていきたい。

問 病児・病後児保育について、利用状況はどうなっているのか。

答 病後児保育は年間10～15人程度、病児保育は年間50人程度の利用がある。障害児保育は、はぎの保育園で実施されており、今年度も引き続き実施する。

リサイクル対策事業について

生ごみ堆肥化モデル事業を平成24年度から西田中地区で実施していたが、生ごみの増加によりこれまで使用していた処理機では処理できなくなったため、処理量の大きい機器を設置して、さらなる生ごみの減量化と生ごみ堆肥を活用した循環型社会の推進を図ります。

問 既存の生ごみ処理機はどうするのか。

答 現在は町で保管している。使用可能なので、今後も使用する予定でいる。

問 新しい処理機（100kg）を使用すると、西田中地区における生ごみの削減が年間約25,000kg見込まれるとあるが、処理費用も削減されるのか。

答 費用対効果はあまり期待できないが、循環型社会の形成に寄与できる。今後も推進していきたい。

産業部門

観光戦略事業（団体誘客促進事業補助金）について

団体観光客・団体宿泊者数の増加を目的として、越前町への企画旅行を実施した旅行会社に対して、宿泊は1人一泊1,000円、昼食は1人500円の助成をします。

問 平成27年度に利用した業者は何件か。

答 4件。

問 旅館業者への周知が足りないのでは？きちんと理解してもらっているのか。

答 観光連盟を通して、しっかり周知していく。今後は小規模の旅館等にも利用していただけるように、旅行会社募集型だけでなく、観光客が利用しやすい事業も実施する。

問 行政が補助をしすぎると、業者の自助努力の妨げとなるのではないか。

答 観光業の方には、こうした制度を有効に活用して誘客に努めていただきたい。また、インターネットを活用した誘客の後押しができるとよいと考えている。

観光施設改修事業（越前がにマーケット棟改修工事）について

越前がにミュージアムマーケット棟2階を、昼食ができる場所に改修します。

問 越前がにマーケット棟2階からは海も見えず、景色がよくない。1階で食事できるように改修したほうがよいのではないか。

答 2階の眺望は確かによくないが、落ち着いて食事をしていただきたいという思いから、昼食コーナーは1階の物販コーナーと分離した方がよいと考えている。

問 指定管理者側も、すべてを町に任せるのではなく、自助努力をしてほしい。

建設部門

小規模住宅地開発支援事業について

まちなかの空き家や空き敷地などの有効な土地活用と定住促進を図る目的で、町内の定められた区域内において、2戸以上の住宅地の開発を行う民間業者に対し支援をします。

（補助限度額：1事業につき500万円）

問 場所は決まっているのか。

答 特定の地域を対象としているわけでない。本事業は民間事業者に対する経済的支援を行うものである。

地域住宅等整備事業（多世帯近居住まい推進事業補助金）について

直系親族と新たに近居するために一戸建て住宅を建築する工事費や一戸建て住宅を購入する費用に対して補助します。（補助限度額50万円）

問 増築や改築は対象とならないのか。

答 新たに建築する場合のみとなる。

答 今回は最低限度の改修であるので、当然、指定管理者側にも努力をしてもらうよう指導する。

教育部門

小中学校の統廃合について

問 避けては通れない問題である。遅かれ早かれ検討しなければならない。

答 学校統廃合は、大きな問題である。慎重に意見を聞いて進めていきたい。

問 年間4件分しか予算計上されていないが、それ以上の申請があった場合はどうするのか。町単独で助成してはどうか。

答 町単独の助成は現在考えていない。国の事業に合わせての実施が前提なので、国県の補助が付けてもらえるよう努力する。

問 合併前の町において、小学校の児童数減少の問題が取り沙汰された時は、複式学級で学校を維持することより統廃合を選んだ経緯がある。最初は抵抗があったが、その後互いに交流を深め、最後には合併してよかったと言われた。早めに準備をした方がよい。十分検討してほしい。

答 国の適正規模・適正配置に踊らされている部分もあるかと思うが、国の要領に従えば、各地区単位での統廃合だけでは済まされないのが現状である。今後慎重に協議を進めていきたい。

平成28年度予算額

（単位：千円）

会計名		平成28年度予算額	増減率（%）
一般会計		12,580,000	△ 7.0
特別会計	国民健康保険事業	2,593,578	4.0
	介護保険事業	2,377,795	△ 1.2
	後期高齢者医療事業	229,271	△ 0.1
	簡易水道事業	384,196	△ 9.6
	公共下水道事業	632,337	△ 20.3
	集落排水事業	336,254	△ 0.6
	温泉事業	14,511	△ 3.3
	農林漁業体験実習館事業	28,770	0.9
	土地区画整理事業	17,056	△ 69.5
	小計	6,613,768	△ 2.5
事業会計	上水道事業	423,248	3.9
	国民健康保険病院事業	455,078	3.1
	小計	878,326	3.5
合計		20,072,094	△ 5.1

第1回臨時会・第2回臨時会・3月定例会　全会一致で可決・承認した議案

第1回臨時会　議案名	
議案第1号	平成27年度越前町一般会計補正予算（第11号）
議案第2号	財産の処分について
報告第1号	専決処分の報告について（越前町公共下水道朝日浄化センターの建設工事委託に関する協定の変更について）
第2回臨時会　議案名	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度越前町一般会計補正予算（第12号））
議案第3号	公の施設の指定管理者の指定について（泰澄の杜）
議案第4号	公の施設の指定管理者の指定について（オタイコ・ヒルズ及び越前町織田陶房「わづみ館」）
議案第5号	公の施設の指定管理者の指定について（悠久ロマンの杜）
3月定例会　議案名	
議案第6号	越前町行政不服審査会条例の制定について
議案第7号	越前町行政不服審査関係手数料条例の制定について
議案第8号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第9号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第10号	越前町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について
議案第11号	越前町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第12号	越前町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
議案第13号	越前町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
議案第14号	越前町ふるさと再生寄附条例の一部改正について
議案第15号	越前町保育所条例の一部改正について
議案第16号	越前町児童館条例の一部改正について
議案第17号	越前町子育て支援センター条例の一部改正について
議案第18号	越前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第19号	越前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について
議案第20号	平成27年度越前町防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約の変更について
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町老人福祉センター「幸若苑」及び越前町老人憩いの家「陶寿園」）
議案第22号	第二次越前町総合振興計画基本構想の策定について

3月定例会　議案名	
議案第23号	越前町過疎地域自立促進計画を定めることについて
議案第24号	町道路線の認定について
議案第25号	町道路線の変更について
議案第26号	福井県市町総合事務組合規約の変更について
議案第27号	平成27年度越前町一般会計補正予算（第13号）
議案第28号	平成27年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
議案第29号	平成27年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
議案第30号	平成27年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
議案第31号	平成27年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）
議案第32号	平成27年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
議案第33号	平成27年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第5号）
議案第34号	平成27年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第1号）
議案第35号	平成27年度越前町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
議案第36号	平成27年度越前町上水道事業会計補正予算（第2号）
議案第37号	平成27年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）
議案第38号	平成28年度越前町一般会計予算
議案第39号	平成28年度越前町国民健康保険事業特別会計予算
議案第40号	平成28年度越前町介護保険事業特別会計予算
議案第41号	平成28年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第42号	平成28年度越前町簡易水道事業特別会計予算
議案第43号	平成28年度越前町公共下水道事業特別会計予算
議案第44号	平成28年度越前町集落排水事業特別会計予算
議案第45号	平成28年度越前町温泉事業特別会計予算
議案第46号	平成28年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算
議案第47号	平成28年度越前町土地区画整理事業特別会計予算
議案第48号	平成28年度越前町上水道事業会計予算
議案第49号	平成28年度越前町国民健康保険病院事業会計予算
同意第1号	越前町教育委員会委員の任命について
同意第2号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
同意第3号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
同意第4号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
同意第5号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
同意第6号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
同意第7号	越前町政治倫理審査会委員の任命について

自治功労賞受賞

３月定例会終了後、福井県町村議会議長会自治功労賞の表彰状伝達式が行われました。

表彰された議員は次のとおりです。

●18年以上在職者　村上 義人 議員　　●10年以上在職者　木村 繁 議長

地方自治の振興発展に大きな役割を果たされてきたことに敬意を表します。

（左）木村議長、（右）村上議員

いっぱん質問！

町政を問う！

一般質問では、議員が住民の代表として、行財政全般にわたり、町当局の施策を問いただします。

青柳 良彦 議員

本庁とコミュニティセンター機能について

青柳　職員数が減少し、本庁業務が過密になっている。町民に不便を強いている部分も見受けられる。各コミュニティセンターの職員の配置と業務を見直してはどうか。

町長　合併以降10年間、職員を削減してきているので、余裕のある配置はできない。組織を統合再編し、組織力で町民のニーズに対応していく。交通弱者の高齢者にとって、コミュニティセンターの存在は大きいので、引き続きコミュニティセンターの事務取り扱いについては現状を維持する。

青柳　各コミュニティセンターの異動届と戸籍届の月間件数は、宮崎5件、越前10件、織田12件となっている。この現状で、今後もコミュニティセンターで本庁と同じことができないとだめなものなのか。段階的に本庁へ集約すべきである。

副町長　件数を見ると非効率な部分もあるかと思うが、町民からの強い要望もあり、「町民に寄り添った行政」をしていきたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

青柳　転入届をコミュニティセンターに出した場合、「たらい回し」と誤解されるようなことも起きている。必ずしも現在の業務が住民の立場に立ったきめ細やかなサービスにつながっていないのではないか。

副町長　「町民の心の拠りどころ」となるのがコミュニティセンターの役割と理解しながら運営している。コミュニティセンターでできる事務はコミュニティセンターで行い、コミュニティセンターの役割を強化していきたい。

伊部 良美 議員

国道305号の越波対策について

伊部　国道305号沿いの高波による通行止め規制が最近増えてきている。地球温暖化現象に伴う海水温の上昇が要因の一つかと考えられる。一日も早く対策を講じてほしい。

町長　地球温暖化による近年の異常気象を考慮すると、今後も越波による被害が心配される。国道305号の安全確保はもとより、沿線の住民の思いを十分くみ取り安全で安心して通行できるよう、県や関係機関等へさらなる要請活動を行っていきたい。

伊部　自然災害だからと一言で片づけておく問題ではないと私も思う。火災や急患など非常時のことを考えると、一日でも早い対応策が必要と考える。京都大学の矢野教授が研究開発する「セルロースナノファイバー」という植物繊維を活用してどうか。固く軽量で、塩害に強く、透明にもなるこの材質ならば、高波対策にもなり風光明媚な越前海岸も堪能できるトンネルの設置が可能である。町も積極的に勉強してほしい。

道の駅「越前」の横断歩道改良整備について

伊部　道の駅「越前」の賑わいは、予想をはるかに上回るもので喜んでいるが、混雑した人ごみの中で右往左往する車椅子の方や、雨の中、傘もさせずに車椅子を押して国道を横断する人を見かける。ＪＲ福井駅前のように、道の駅「越前」の横断歩道に車椅子専用レーンの設置と屋根の設置を県等に要請してはどうか。

町長　道の駅「越前」は賑わいを見せて大変好評である。しかし一方で、道の駅「越前」と越前がにミュージアムや「海鮮市場」との間には町道を挟んでおり、これらの施設の一体化については、オープン当初からの課題である。屋根をつけるなどして互いの施設の往来がしやすくなるよう検討していきたい。

いっぱん質問！

町政を問う！

田中 太左ヱ門 議員

町が所有する財産について

田中 公共財産等を管理する上で、民間企業のような減価償却的な考え方、必要がない公有財産を売却する方向性で検討すべきでないか。

町長 平成28年度に複式簿記、発生主義を取り入れた国の統一的基準による財務書類を作成し、町が所有する庁舎、学校、公園、道路など、全ての固定資産の台帳整備を行う。また、台帳整備により、見える化される多くの未利用の土地や施設についても、その利活用に努めたいと考えている。

社会資本整備（道路）について

田中 道路橋梁等の改修及び長寿命化計画並びに平成28年度中の重点的な社会資本の整備計画はどうなっているのか。

町長 町単独の道路維持補修事業は工事請負費6,000万円、町単道路改良事業は工事請負費1億2,000万円を計上し、毎年各地区からの要望を取りまとめ、現地を精査した後、緊急性の高いものから発注をしている。道路構造物の長寿命化については、橋梁、トンネル等を5年に1回点検し、健全、予防保全、早期措置、緊急措置の4つに区分し、緊急性の高いものから補修している。また、平成28年度は町単独工事等も含め一般財源を最大限投入し、町民の皆様の道路整備に対するご要望に応えたい。

現場踏査の様子

吉村 春男 議員

かれい崎荘の跡地利用について

吉村 かれい崎荘の跡地は国道305号の南の玄関口である。跡地利用について今後の計画があるなら町長の考えをお聞きしたい。

町長 今後の活用方法については、公営の釣堀や養殖場、駐車場や公園、隣接する露店風呂「日本海」の利用客が休憩や食事、展望を堪能できる施設の整備ほか、あらゆる分野での利活用策を検討し、地元の意見を聞き、また旧かれい崎荘跡地活用検討委員会に諮りながら、関係機関との協議を重ねたいと考えている。

県道福井四ヶ浦線の整備について

吉村 国道305号が高波による通行止め時、迂回路となる県道福井四ヶ浦線は、危険個所が多く安心して通行できない。安全に通行できるようカーブミラーやガードレール等交通安全施設の設置など道路の整備をお願いしたい。

町長 区からの要望を受け、毎年、県へ道路改良の要望をしているが、未改良区間もまだ多い。国道305号の越波対策と同様、代替道路としての重要性を考慮して、県に対してさらなる要望活動を行っていきたい。

各学校でのいじめ、不登校について

吉村 町内小中学校でいじめや不登校はあるのか。あるのならばその対策についての考えをお聞きしたい。

教育長 いじめについては既に改善・解消されたという報告を受けている。学校だけで抱え込むのではなく、保護者と共有して一緒に対応する風通しの良い学校づくりを進めていきたい。不登校については、これまでの支援に加え訪問型の支援と、家の外で子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供したいと考えている。

高校生の通学支援について

吉村 前向きに思い切った支援ができないか。バスの増便や時間帯の見直しを公共交通機関に要請できないか。

町長 現在、鯖江市や越前市とのコミュニティバスの相互乗り入れ等について協議中である。また、福井鉄道神明駅へのアクセス充実のため、路線バス運行のない時間帯のコミュニティバスの運行も検討中である。

笠原 秀樹 議員

町立ホッケー場の人工芝について

笠原 平成18年完成の町立ホッケー場の人工芝は、耐用年数10年とされており、張り替えの時期がきている。この際オリンピック仕様に張りかえ、キャンプ地として誘致できる態勢を整えるべきと考えるが、いかがか。

教育長 平成30年の福井国体のホッケー競技会場として、県立ホッケー場と町立ホッケー場の2コートを使用予定であり、平成28・29年の継続事業で、町立ホッケー場のスタンド側コートを張り替え予定である。オリンピック仕様の人工芝は、開催の3年前に決定されるため、その結果を受けて山側のコートを平成30年に整備し、東京オリンピックに出場するナショナルチームを誘致したい。現在オーストラリアチームを第一候補として誘致を進めていきたいと考えている。

本庁舎改修について

笠原 庁舎旧館は昭和42年に建築されている。昭和56年の建築基準法が改正され、耐震基準を満たしていない。役場本庁舎は、災害発生時には災害対策本部や町民の避難場所にもなるため、安全な建物でなければならない。本庁舎を改修するのか新築するのか、事業の対策、その他方法について答弁を求める。

町長 庁舎旧館部分は平成23年度に耐震診断を実施した結果、構造耐震判定指標を大きく下回り補強等の実施が必要である。①旧館に耐震補強工事を施し既存建物を活用 ②旧館のみを取り壊し鉄骨2階建の庁舎建築と別館の改修 ③旧館を取り壊し鉄骨3階建ての庁舎を建築 ④新たに庁舎全部建て替える等考えられるが、財政状況も厳しく、他の大型事業も予定している中で、改修を進めるためには、合併特例債の活用は不可欠である。従って特例債の発行期限である平成31年度までには議会とも相談し進めていきたい。

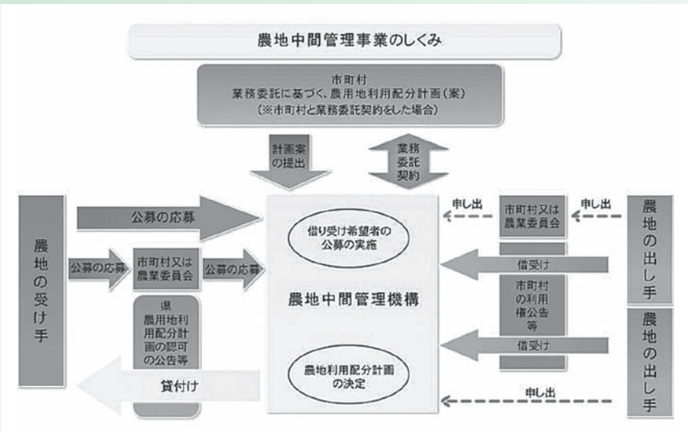
齋藤 稔 議員

中間管理機構の推進について

齋藤 中間管理機構についての周知が足りないのではないか。町内の農業従事者は65歳以上の高齢者が大半であり、集落営農が機能していない地区や農業法人のない地区の農業者も、このシステムへの理解が薄い。もっと中間管理機構のことを懇切丁寧にPRし、スピード感をもって耕作放棄の防止や後継者育成に努めていただきたい。

町長 「農地中間管理機構」は、平成26年度から導入された制度で、経営転換や離農を考えている人が、農業生産法人や認定農業者等の担い手に農用地を貸し付け、一定の要件を満たせば協力金が支払われるものである。

今後、町は窓口として適切な指導や助言に努め、より広く制度を知っていただくよう努力していきたいと考えているが、この事業は、機構自身が借り手を探してくれるものではなく、集落内で話し合い、適切な担い手を見つけ出す必要がある。地域の農業は地域で守るという意識の醸成に努めるとともに、新規就農者への支援や営農組織の育成に加え、生産基盤の整備や機械導入の助成などあらゆる手段を講じて支援していきたい。



齋藤 町で専門的な職員を配置して、法人設立の支援や指導をしていただきたい。また、後継者不足の問題は農業だけではなく林業・漁業も含めご指導とご支援を賜りたい。

町長 大事な基幹産業だが、後継者不足が問題となる。今回の政策をうまく利用して集積化を進め、後継者の育成にも力をいれていきたいと考えている。今後もご協力お願いしたい。

いっぱん質問 その後

一般質問の答弁が、その後どのように町政に反映されているのかを、調査しました。

ふるさと創造プロジェクトについて

水仙ランドを核とした「越前水仙・絶景・夕日」を活かした上岬地区の活性化事業の今後のスケジュールと事業終了後の支援策を問う。

（平成26年9月定例会・吉村春男議員）

答弁（町長）

関係団体と協議を重ね、事業をとおして、周辺地域の活性化と交流の機会を広げる事業を展開していきたい。

●「上岬地区を良くする会」が平成26年10月設立され上岬地区の活性化のため、活動内容の検討を開始。

↓

●町から活動支援事業補助金の交付。

↓

●先進地視察研修を実施。
●イルミネーションイベントの実施。

↓

地域住民とボランティアが、周辺地域の活性化事業としてLED発光器「ペットボタル」の設置を行うことで、地域住民の融和と団結力が生まれた。イルミネーションイベント「水仙岬のかがやき」オープニングセレモニーを開催し、地元食材である水ガニのふるまい鍋を行うことで地域間交流と、地域の魅力の再発見につながった。

↓

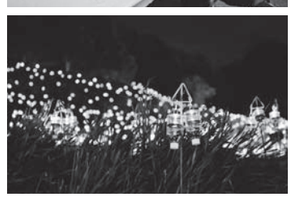
今後もイベントを継続することで、活気と潤いのある地域を築いていくとともに、越前水仙の咲く冬期間以外に、新たな観光スポットとの位置づけで、観光誘客をはかり、県内外の来場者の増加を見込む。

●上岬地区ガイドブックの作成。

↓

ガイドブックを活用し、地域の魅力を情報発信するため、地域住民によるガイドの養成を行い、交流の機会を広げる。

水仙岬のかがやき
オープニングセレモニー



上岬地区ガイドブック

議会・委員会・一部事務組合議会等　議員出欠状況

（12月19日～3月18日）

○…出席　×…欠席　△…遅刻・早退　（　）は欠席の理由（公）は公務、（葬）は葬儀参列

月	日	曜日	内容	木村議長	青柳副議長	田中議員	佐々木議員	齋藤議員	伊部議員	笠原議員	村上議員	北島議員	上坂議員	安井議員	山本議員	吉村議員
1	4	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	水	議会広報特別委員会	／	○	○	○	○	／	／	○	／	○	○	／	○
	29	金	議会運営委員会	○	／	○	○	／	／	／	／	○	／	○	○	○
			平成28年第1回越前町議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	1	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	水	公立丹南病院組合議会定例会（鯖江市役所）	／	／	／	／	×	／	／	／	／	○	／	○	○
	12	金	福井県丹南広域組合議会定例会（越前市役所）	○	○	／	○	／	／	／	／	／	○	／	／	／
	15	月	鯖江広域衛生施設組合議会定例会（鯖江市役所）	／	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	／	／
	18	木	議会運営委員会	○	／	○	○	／	／	／	／	○	／	○	○	○
			平成28年第2回越前町議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	金	鯖江・丹生消防組合議会定例会（鯖江市役所）	／	／	○	／	／	○	／	／	○	／	○	／	／
	29	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	4	金	定例会（本会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	月	定例会（現場踏査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	火	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	水	定例会（本会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	木	定例会（現場踏査）	○	○	○	○	○	×（葬）	○	○	○	○	○	○	△（葬）
	11	金	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	△（葬）	○	○	○	○	○	○
	12	土	町内中学校卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	月	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	火	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	水	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	木	定例会（全員協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	金	町内小学校卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			定例会（本会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会広報特別委員会	／	○	○	○	○	／	／	○	／	○	○	／	○

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様に議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会一部事務組合等の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

現場踏査の様子（宮崎ディサービス）

現場踏査の様子（町立ホッケー場）

えちぜん議会だより vol.44
発行日／平成28年5月2日
編　集／議会広報特別委員会
発行責任者／議長　木村　繁

〒916-0192　福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL（0778）34-8712・FAX（0778）34-8726
メールアドレス／gikai@town.echizen.fukui.jp

がんばってます！～越前まこもの会～

私が、真菰（まこも）と出会ったキッカケは転作です。条件の悪い田圃を有効利用し、新たな農作物で町を活性化できないかと思案していた時、平成16年9月に真菰（まこも）と出会いました。イネ科の真菰（まこも）は、栽培がイネと同様な期間で栽培が可能でした。平成17年4月から福井県内初の真菰（まこも）の栽培研究を開始し、9月には初収穫しました。平成18年9月からは、まこも茸PR試験販売を開始し、まこも茸の調理方法もPRしてきました。様々な商品開発にも努めてきました。まこも茶、まこもカステラ、まこもクッキー、まこもパウダー、まこもプリンです。

また、平成22年10月に全国真菰（まこも）サミットIN川口に参加し、全国の方と意見交換をしました。本年は越前町でサミットを開催します。

島根県出雲市出雲大社へも献上しています。

今後は、まこも茸の新たな可能性を考えています。自宅横にピザ窯を作り、まこも茸ピザを試作しました。交流拠点施設として利用も考えています。まだまだ、まこも茸の可能性は未知数です。これからも頑張っていきます。

● 真菰（まこも）生産のこれまで

平成16年　9月	真菰との出会い
平成17年　4月	真菰の栽培研究開始（福井県内初）
平成17年　9月	初収穫
平成18年　9月	まこも茸 PR 試験販売開始
平成19年　9月	まこも茸通常販売開始　地方新聞掲載
平成22年　4月	福井県特別栽培認証取得（無農薬・無化学肥料）
平成22年　7月	まこも茶（ティーパック）
平成22年10月	第6回全国真菰サミット IN 川口参加
平成23年　3月	福井県丹南農林丹生支援課研修会講演（まこもの魅力）
平成23年　8月	真菰パウダー販売開始
平成24年　4月	まこもカステラ販売開始（菓子処江雲堂）
平成24年10月	第7回全国真菰サミット IN 菰野参加（事例発表）
平成25年　2月	島根県出雲市出雲大社初献上（まこもパウダー・まこもカステラ・まこもクッキー）
平成25年　4月	まこもそば販売開始（だいこん舎）
平成25年　4月	越前町立宮崎小学校食育授業開始
平成25年　8月	まこもぷりん発売開始（ささえ農園）
平成25年　8月	福井県学校給食セミナー講演
平成25年　9月	まこもクッキー販売開始（フクレール）
平成26年10月	第8回全国真菰サミット IN 瑞浪参加（事例発表）
平成26年10月	次回第9回全国真菰サミット IN 越前開催決定
平成26年10月	越前町立宮崎中学校食育授業開始
平成26年10月	日本野菜ソムリエ協会食サミット一つ星受賞（越前まこも）
平成27年　3月	島根県出雲市出雲大社献上（まこものうた・まこもパウダー・まこもカステラ・まこもクッキー）
平成27年　8月	「越前まこも」特許庁商標登録取得

まこもを使った料理の実習（宮崎中学校にて）

中学生と一緒にまこもを収穫しました

越前まこもの会のみなさん

▶まこもクッキー

◀まこもカステラ

傍聴席へどうぞ　次の議会は6月です

（日程については、議会事務局にお問い合わせください）　TEL.34-8712

編集後記

今年で、東日本大震災から5年を迎えましたが、復興は遅れ、今も17万1,000人（平成28年3月10日現在）の方々が避難しておりその方々のことを思うと心が痛みます。

さて、今年は7月に参議院選が実施されますが、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。越前町でも新たに約700人が選挙権を得ました。若者の政治離れが叫ばれています。しかし、自分たちが住む越前町や県・国が、これからどの方向に向かうかと問われている時に、無関心ではいられないはずです。社会を見つめ、自分の意思を反映した人に投票していただきたいです。若者の選挙への関心を高めてもらうためにも、私たちの政治への使命と責任を、今一度考えていきたいです。

（安井）

議会広報特別委員会
委員長　佐々木　一郎
副委員長　田中　太左ヱ門
委員　吉村　春男
安井　賢二
上坂　昭夫
村上　義人
青柳　良彦
齋藤　稔

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187